関中学校だより



🗫 第14号 🕏

令和7年9月24日発行 亀山市立関中学校

文責: 堀内

しょくばたいけんがくしゅう おこな

職場体験学習を行いました

9月10日~12日の3日間、2年生が職場体験学習を行いました。職場体験は生徒にとって、大変貴重な社会体験であり、将来の職業やキャリアについて考える機会となります。職場の人たちとのコミュニケーション力、確実に仕事をこなす責任感など様々なことを学びます。職場体験を終えて学校に戻ってきた生徒たちは「楽しかったので、また行きたい」「一日立ち仕事で疲れた」など様々な感想を伝えてくれました。本年度もたくさんの事業所にご協力をいただきました。この職場体験学習を支えていただいた事業所の皆様、地域・保護者の皆様、本当にありがとうございました。今後ともご支援、ご協力よろしくお願いいたします。







かめやましょうぼうほんぶ 亀山消防本部



PERSONS

ゕゕゃましせき 亀山市関B&G海洋センター

関認定こども園アスレ







ご協力いただいた事業所

本当にお世話になりました

 せいと かんそう せいと 【生徒の感想】 生徒たちは、職場体験を通して様々なことを学びました。

【製造業】

最初は楽しかったが、仕事を続けていくうちに、徐々に仕事をする大変さが分かるようになった。
な私が一番大変だと思ったことは、でっていた。な私は今まで丁寧に作業をすることだった。私が行かせてもらった職場はエ場で、何時間も同じ作業をしていた。私は今まで丁寧に作業をするなんて、気をつけていたら簡単にできることだと思っていた。だが、実際に体験してそれは肉体的にも精神的にもとても疲れることだということが分かった。そして、それを毎日やっている人はすごいと気づくことができた。また、ものを作るだけだからほとんどコミュニケーションはないと思っていた。だが、行ってみると職場の人たちは作業の説明以外にも世間話なども休憩の時間にしてくれた。繁張してっまく話すことはできなかったが、この職場体験を通じて、コミュニケーションは職場の雰囲気を良くし、過ごしやすい環境をつくるために必要なものだと思った。

【販売業】

今までは、当たり前のように店で買い物をしていたけど、実際に仕事をしてみて、そこで働いてくれている人たちのおかげで、店が成り立っていることをあらためて実感した。いつも働いてくれている家族のすごさが少しは分かった。品出しが大変なのはなんとなくわかっていたけれど、ずっと同じところにいる仕事(レジなど)もこんなにも大変なものかとびっくりした。どれだけ大変な仕事をしていても、ここで働いている人たち全員が笑顔なのがとても印象に残った。

PTAバザーに向けての活動

本年度も、関中学校では東海道街道まつりでPTAバザーを出店します。9月18日(木)に、PTA会長の中川さんに講師として来校いただき、生徒たちと一緒にバザー商品(ミニサンキャッチャー)を作りました。細かい作業が多く、苦戦している生徒もいましたが、完成した時は「きれい」という声が上がり満足そうでした。10月には北澤建具店さんの協力を得て、昨年度大好評であった大製玩具を生徒たちと一緒に制作する予定です。保護者の皆様、地域の皆様には、生徒たちが作ったミニサンキャッチャーと大製玩具を、ぜひ他の商品と一緒

ミニサンキャッチャー

にご購入していただければありがたいです。バザーで得た収入は、本校の生徒活動費に充てさせていただきたいと思います。

また、11月2日(日)の街道まつりでは、生徒たち数名が大名で列に、棺持ち、造いり、鈴舞 端として参加します。地域の子どもたちが、地域の祭りを盛り上げる姿を見ることができるのは 本当にうれしく頼もしいです。地域や地域のお祭りを大切にできる生徒たちを誇りに思います。

このすばらしい町「関」を自分たちの方でもっともっと盛り上げていきましょう!!

PTA バザー 日時:II月2日(日)9:30~I2:30 場所:関 宿 中町にて